

2017年度決算説明会 2018.3.9



クリヤマホールディングス株式会社(東証第二部3355)

代表取締役CEO **能勢 広宣**

If you have any questions in foreign languages other than Japanese for this briefing session of 2017 annual results, please email to the following email address.

Email: IR@kuriyama.co.jp

We will reply by e-mail from the person in charge at a later date.

目 次

I. 2017年12月期決算概要

| | |
|-------------------|-------|
| 2017年度 業績のポイント | P. 3 |
| 要約損益計算書 | P. 4 |
| 要約貸借対照表(資産の部) | P. 5 |
| 要約貸借対照表(負債・純資産の部) | P. 6 |
| 2017年度 売上高増減要因 | P. 7 |
| 2017年度 営業利益増減要因 | P. 8 |
| 2017年度 当期利益増減要因 | P. 9 |
| アジア事業の概況<産業> | P. 11 |
| アジア事業の概況<建設> | P. 13 |
| アジア事業の概況<スポーツ> | P. 14 |
| 北米事業の概況 | P. 15 |
| 欧州事業の概況 | P. 17 |
| その他事業の概況 | P. 18 |

II. 2018年度 業績見通し

| | |
|----------------|-------|
| 業績見通し | P. 20 |
| 為替見通し | P. 23 |
| 投資 | P. 24 |
| アジア事業<産業> | P. 25 |
| アジア事業<スポーツ・建設> | P. 26 |
| アジア事業<その他> | P. 27 |
| 北米・欧州事業 | P. 28 |
| 株主還元の概況 | P. 29 |

III. 経営戦略

| | |
|------|-------|
| 基本戦略 | P. 31 |
|------|-------|

| | |
|------|-------|
| 補足資料 | P. 37 |
|------|-------|

【注 意 事 項】

・本資料に記載されている、クリヤマホールディングス株式会社の現在の計画、戦略などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは異なる結果となりうることをご承知おきください。

・本資料における「当期利益」は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を表しています。

I. 2017年12月期決算概要

2017年度 業績のポイント

アジア事業 産業資材事業

- ・(株)サンエー製のセンサー売上伸長
- ・尿素SCR関連製品の販売が堅調に推移
- ・中国における建機増産などから
上海栗山の売上伸長

アジア事業 ホテル事業

- ・ホテル事業売却に伴い関係会社株式
売却益を計上

北米事業 欧州事業

- ・原油価格の上昇や堅調な北米経済を
背景に業績回復
- ・クリヤマ品質に合わせる為、スペイン
にて商品廃棄を実施

I. 2017年12月期決算概要

要約損益計算書

(単位:百万円、%)

| | 2016/12 | | 2017/12 | | | |
|-----------|---------|---------|---------|-------|-------|------|
| | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 44,829 | 100.0 | 48,942 | 100.0 | 4,113 | 9.2 |
| 売上総利益 | 12,079 | 26.9 | 12,965 | 26.5 | 885 | 7.3 |
| 営業利益 | 1,988 | 4.4 | 2,004 | 4.1 | 15 | 0.8 |
| 経常利益 | 2,286 | 5.1 | 2,354 | 4.8 | 68 | 3.0 |
| 当期利益 | 1,566 | 3.5 | 2,543 | 5.2 | 976 | 62.3 |
| 為替 レート | 米国 \$ | 109.44円 | 112.04円 | | 2.60円 | |
| | カナダ \$ | 82.63円 | 86.53円 | | 3.90円 | |
| | ユーロ € | 120.63円 | 127.22円 | | 6.59円 | |
| | 中国元 | 16.42円 | 16.63円 | | 0.21円 | |

I. 2017年12月期決算概要

要約貸借対照表

〔資産の部〕

(単位:百万円)

| | 2016/12 | 2017/12 | 増減額 |
|------------------------|---------------|---------------|---------------|
| 現金及び預金 | 6,401 | 6,131 | △270 |
| 受取手形・売掛金 (電子記録債権含む) | 7,266 | 8,954 | +1,688 |
| たな卸資産 | 9,864 | 11,144 | +1,280 |
| その他 | 989 | 1,008 | +19 |
| 流動資産合計 | 24,521 | 27,238 | +2,717 |
| 有形固定資産 | 8,440 | 8,963 | +523 |
| 無形固定資産 | 2,508 | 2,240 | △268 |
| 投資その他の資産 | 6,001 | 6,288 | +287 |
| 固定資産合計 | 16,951 | 17,493 | +542 |
| 資産合計 | 41,472 | 44,731 | +3,259 |

| | 16/12 | 17/12 |
|-------------|---------|---------|
| 期末レート(米国\$) | 116.49円 | 113.00円 |
| 期末レート(ユーロ€) | 122.70円 | 134.94円 |

I. 2017年12月期決算概要

要約貸借対照表

〔負債・純資産の部〕

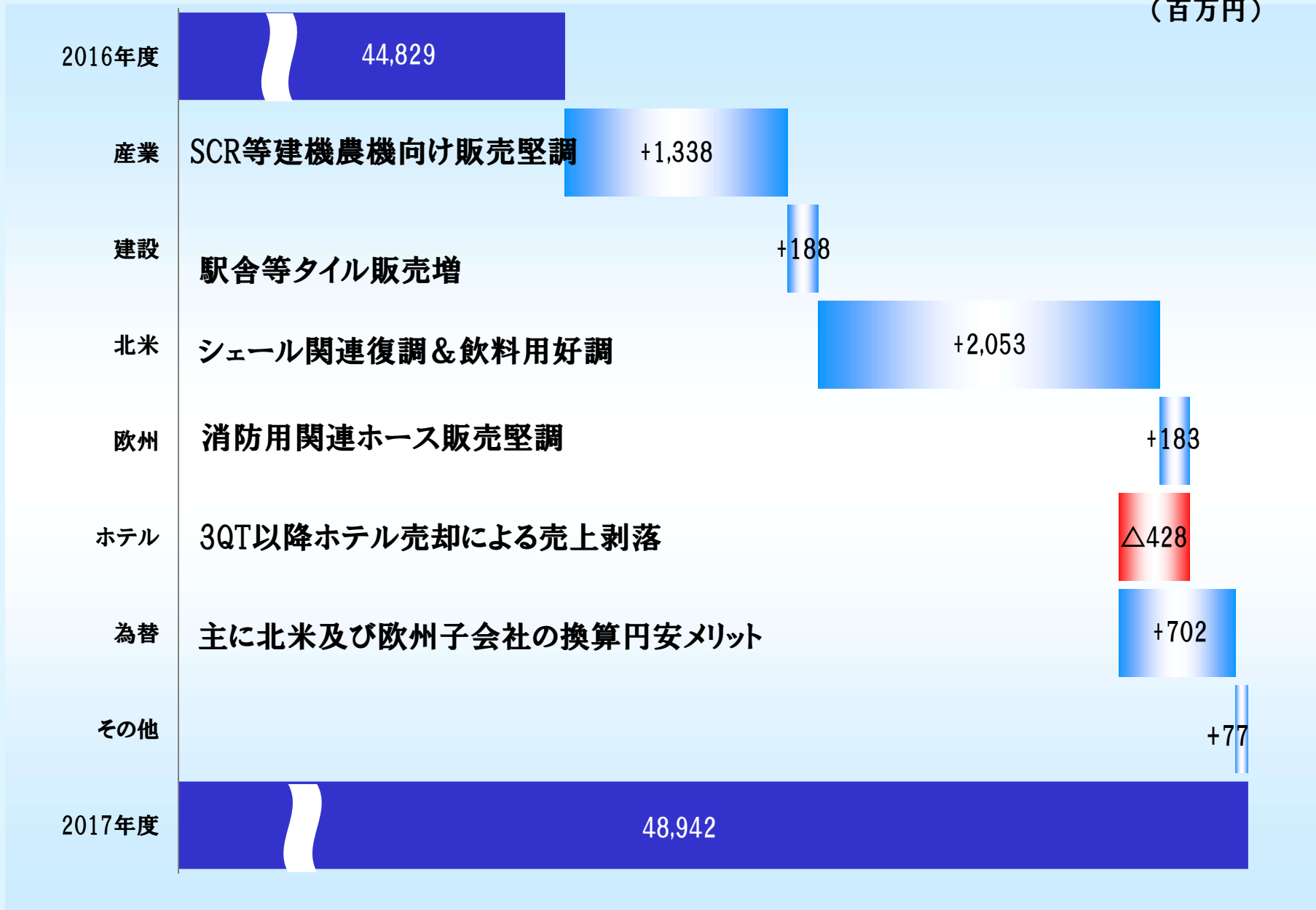
(単位:百万円)

| | 2016/12 | 2017/12 | 増減額 |
|------------------------|---------|---------|--------|
| 支払手形・買掛金 (電子記録債務含む) | 6,185 | 7,661 | +1,476 |
| 借入金(1年内長借含) | 4,848 | 5,926 | +1,078 |
| その他 | 1,960 | 3,282 | +1,322 |
| 流動負債合計 | 12,995 | 16,870 | +3,875 |
| 借入金 | 5,341 | 4,923 | △418 |
| その他 | 3,041 | 2,263 | △778 |
| 固定負債合計 | 8,382 | 7,186 | △1,196 |
| 負債合計 | 21,377 | 24,057 | +2,680 |
| 株主資本合計 | 18,873 | 19,273 | +400 |
| その他包括利益合計 | 1,176 | 1,370 | +194 |
| 非支配株主持分 | 45 | 30 | △15 |
| 純資産合計 | 20,095 | 20,674 | +579 |
| 負債、純資産合計 | 41,472 | 44,731 | +3,259 |

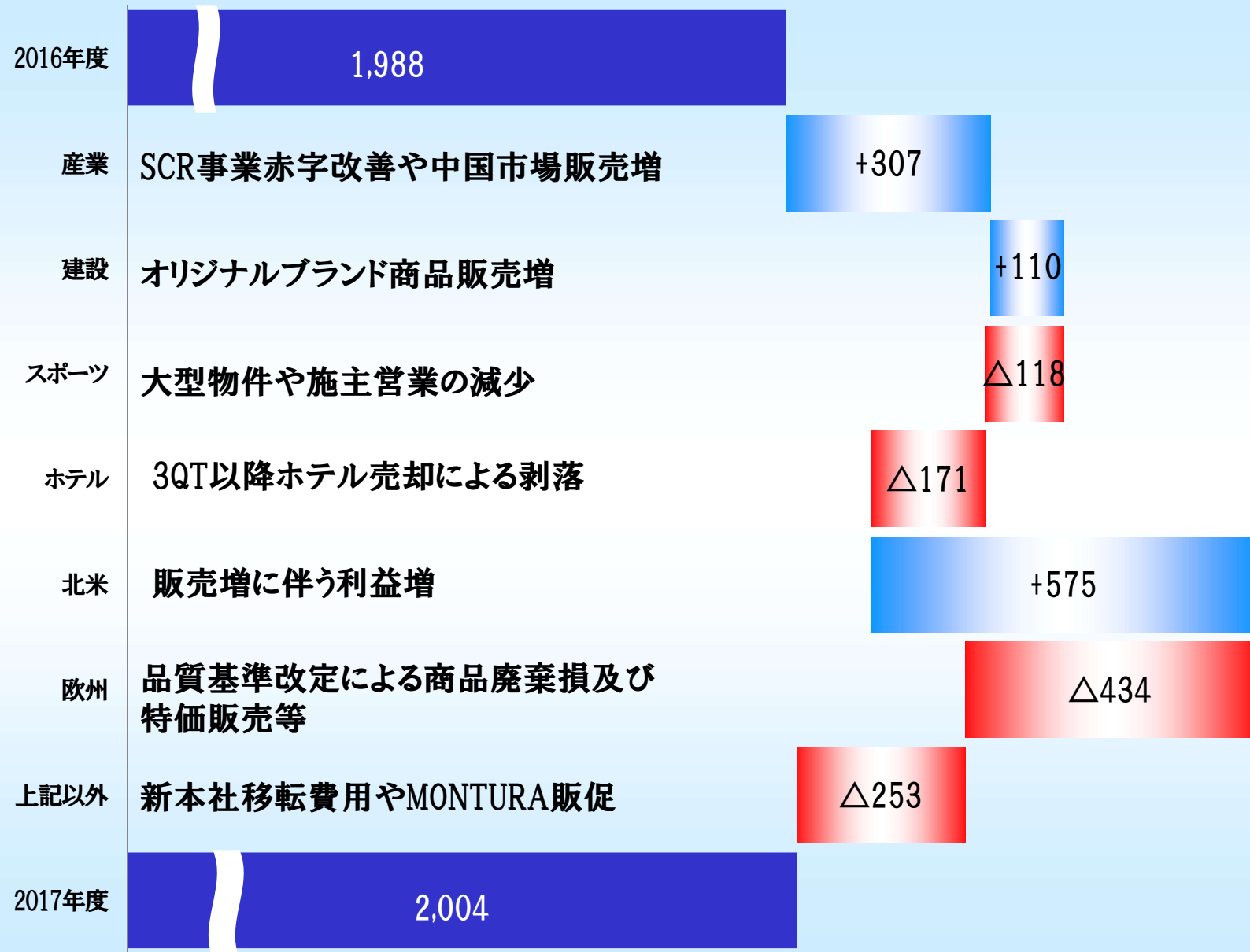
I. 2017年12月期決算概要

2017年度 売上高増減要因

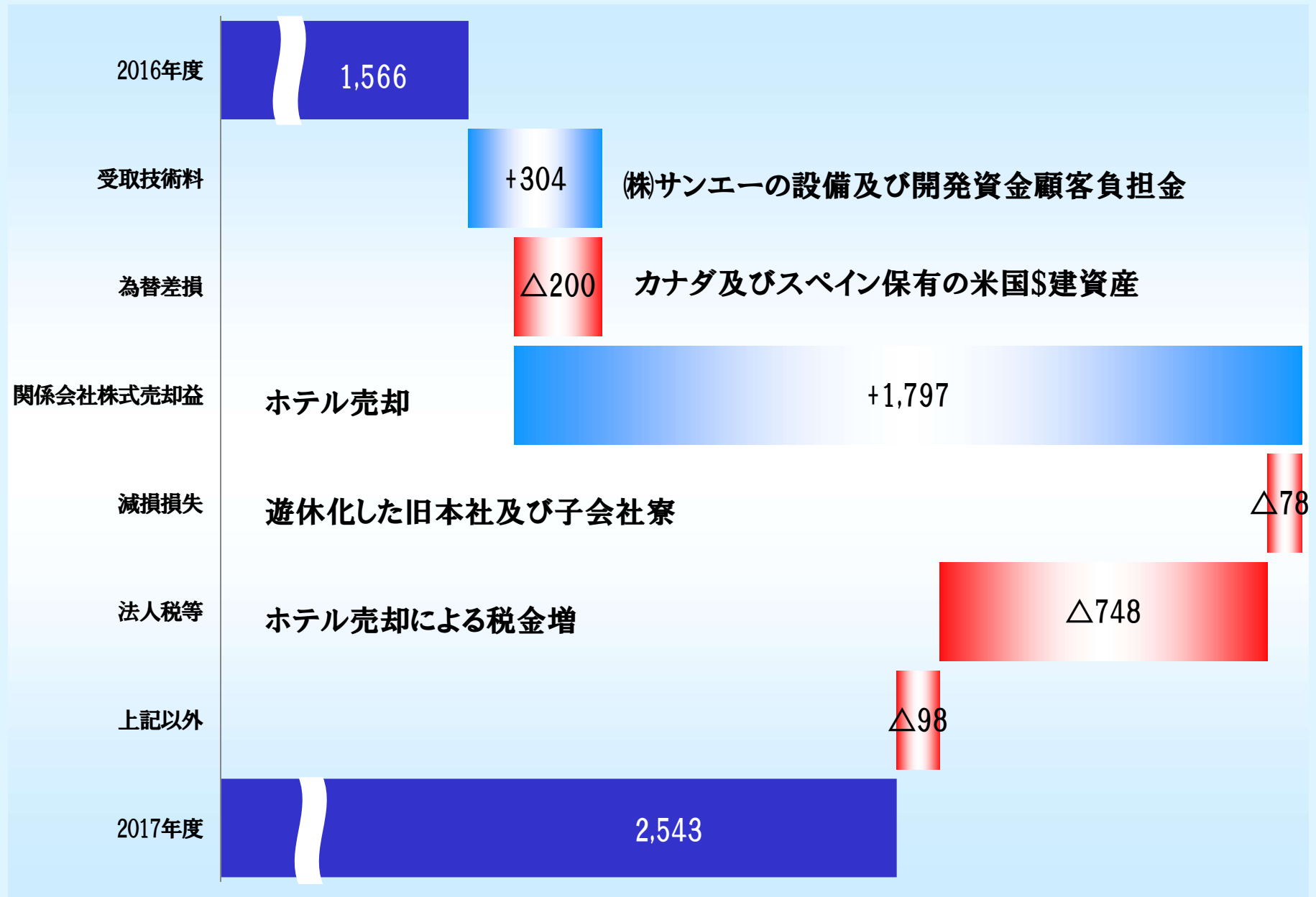
(百万円)



I. 2017年12月期決算概要 **2017年度 営業利益増減要因**



I. 2017年12月期決算概要 **2017年度 当期利益増減要因**



I. 2017年12月期決算概要 **2017年度 当期利益増減要因**

ホテル事業の売却により特別利益を計上

2017年5月12日にホテル事業を営むクリヤマコンサルト(株)の株式を売却したこと
に伴い、関係会社株式売却益を特別利益として計上

① 売却価格 2,467百万円 (当社持株比率98.7%相当分)

② 関係会社株式売却益 1,797百万円

③ 売却時点である2017年6月末日までの
当社グループ連結損益に取込まれた
クリヤマコンサルト(株)の損益の概算額

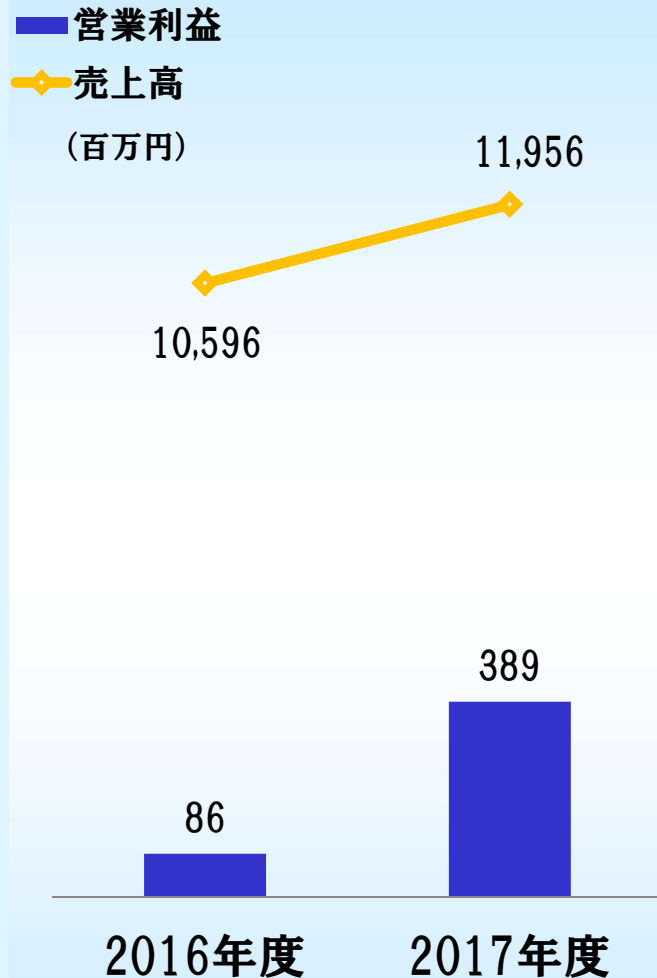
| | |
|------|--------|
| 売上高 | 354百万円 |
| 営業利益 | 120百万円 |



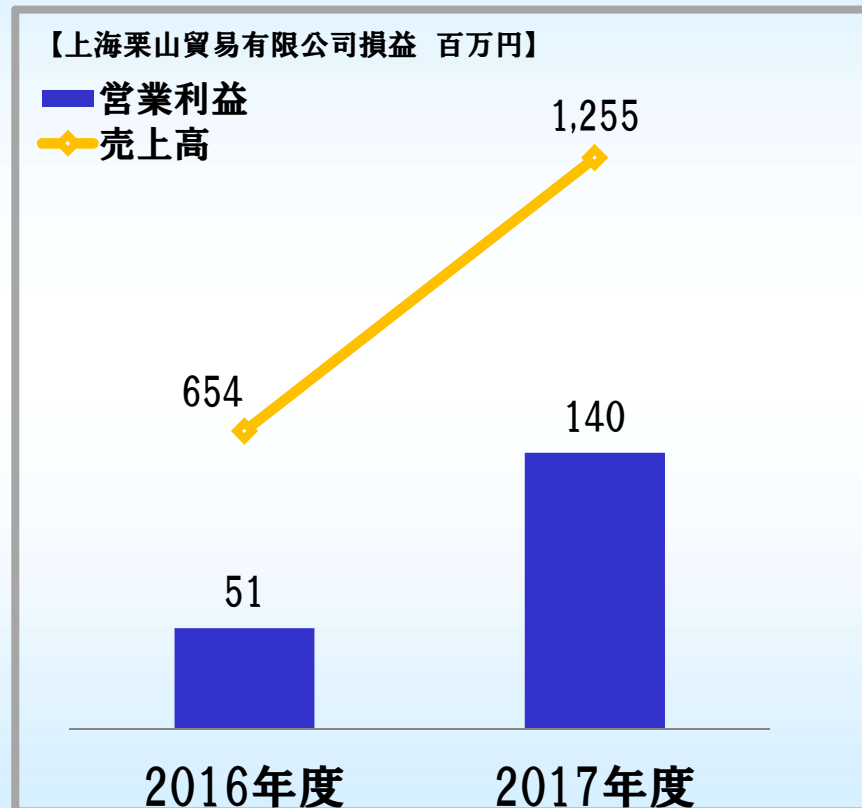
I. 2017年12月期決算概要

アジア事業の概況〈産業〉

売上高/営業利益の推移



中国子会社の上海栗山貿易有限公司において、建機顧客の増産のほか、シールドマシン向けシール材が堅調に推移したため、売上高、営業利益が増加



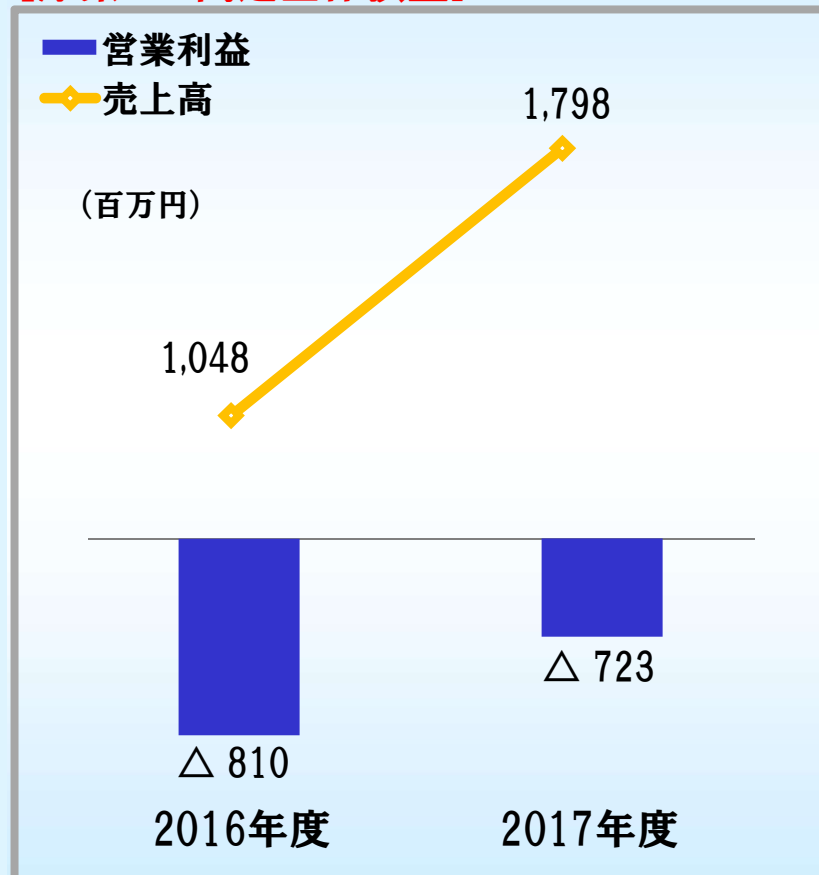
なお、2016年度にその他事業に含めておりました中国事業は2017年度より産業資材事業に含めております。

I. 2017年12月期決算概要

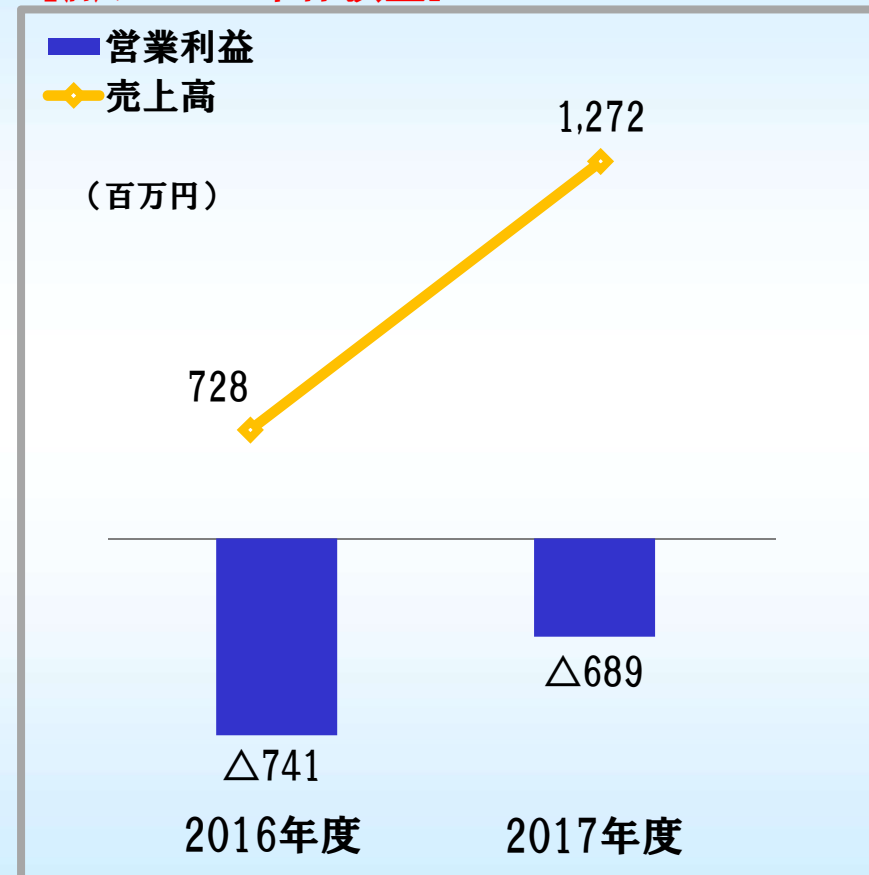
アジア事業の概況<産業>

尿素SCR関連製品が堅調に推移したことにより売上高は増加、営業利益は赤字幅縮小

【尿素SCR関連全体損益】



【株サンエー単体損益】



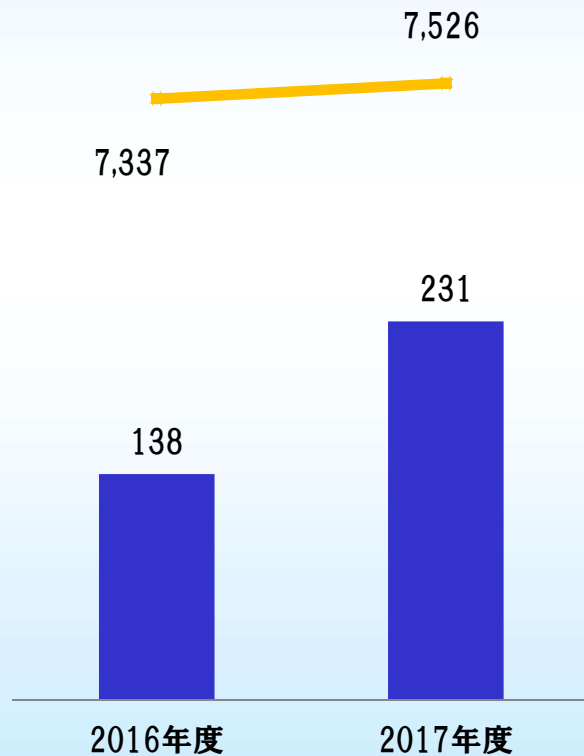
I. 2017年12月期決算概要

アジア事業の概況<建設資材>

売上高/営業利益の推移

■ 営業利益
— 売上高

(百万円)

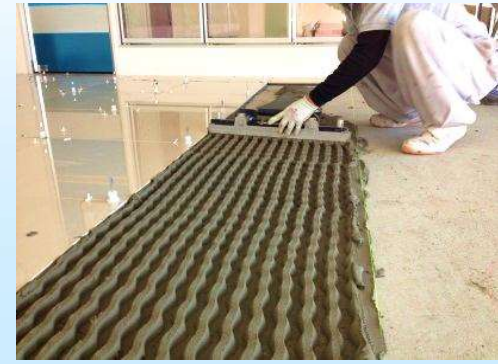


- ・駅の改修・新築工事の増加を背景に、「エーストンシリーズ」(点字タイル等床材)の施工が増加。
- ・チェーンストア向けのストライピング工法による「スーパーマテリアルズ」(セラミックタイル)の施工が増加

エーストンシリーズ



ストライピング工法

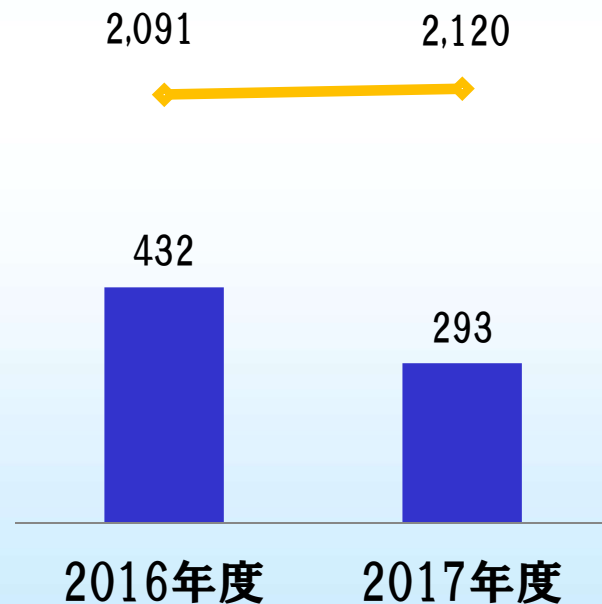


I. 2017年12月期決算概要

アジア事業の概況〈スポーツ〉

売上高/営業利益の推移

■ 営業利益
◆ 売上高
(百万円)



・スーパーXの販売は昨年より落ちたものの
体育館における競技時の安全性やメンテナ
ンス等の観点から、教育施設をはじめとした
体育館の改修工事の受注を牽引



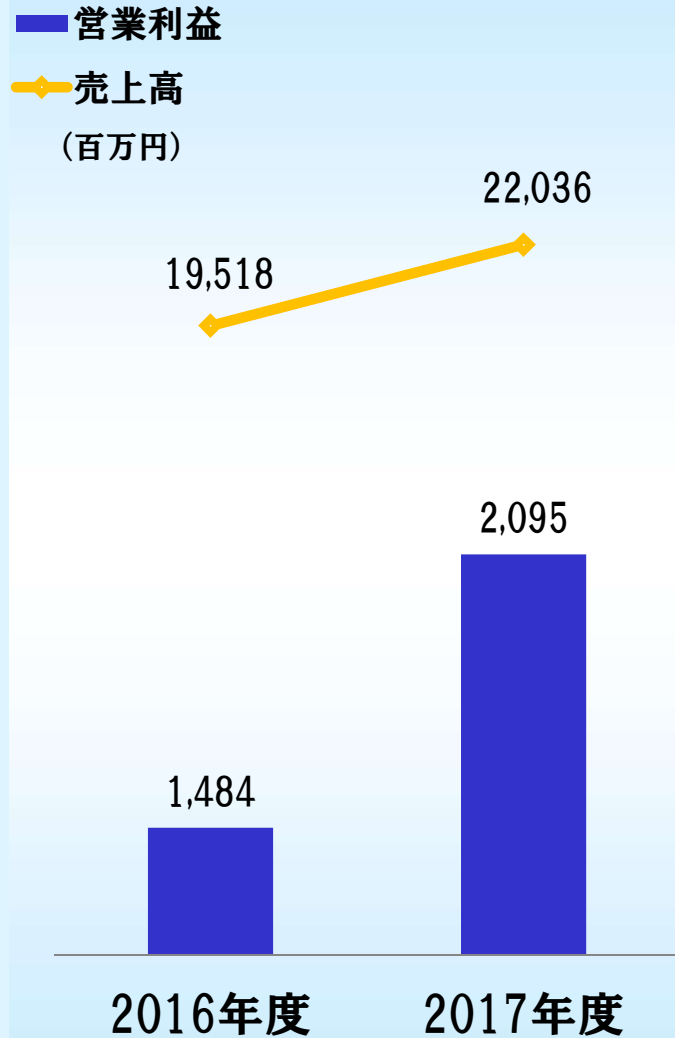
桃山学院大学体育館 (タラフレックス)

・2020年オリンピック・パラリンピック新国立競
技場向けスーパーX受注に向け、
営業活動継続

I. 2017年12月期決算概要

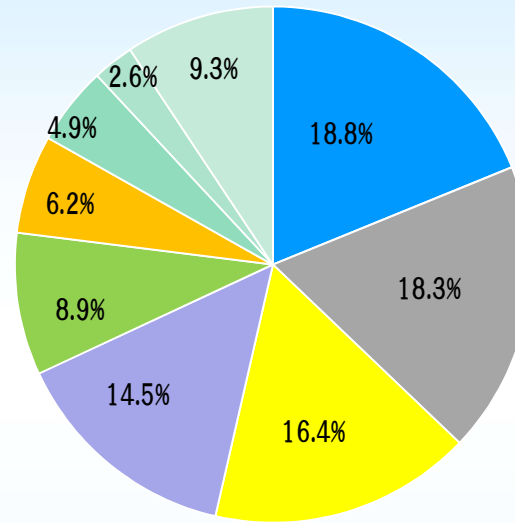
北米事業の概況

売上高/営業利益の推移



オイル&ガス用、飲料用及び産業用ホース販売
堅調推移

● 業界別売上高



| | 売上高 (百万USD) | 前年比 |
|-------|----------------|------|
| 食品・飲料 | 37 | 115% |
| 建築・土木 | 36 | 114% |
| 下水・配管 | 32 | 88% |
| 設備機器 | 29 | 112% |
| 農業 | 18 | 105% |
| 石油 | 12 | 145% |
| 輸送車両 | 10 | 115% |
| 鉱山 | 5 | 86% |
| その他 | 17 | 150% |

● 為替換算影響額

(現地通貨売上高)

196百万USD **前年比10.3%増収**

(売上高影響額) +464百万円

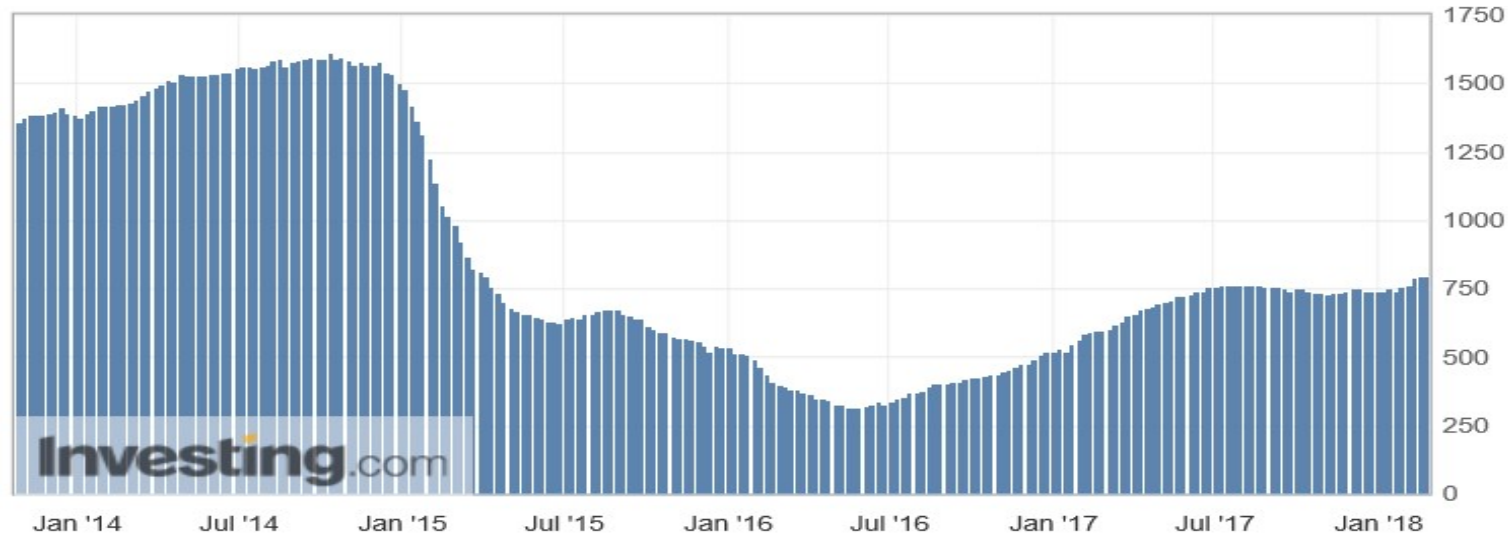
(営業利益影響額) +36百万円

| 期中平均レート (米国\$) | 16/12 | 17/12 |
|-------------------|---------|---------|
| | 109.44円 | 112.04円 |

I. 2017年12月期決算概要

北米事業の概況

ベーカー・ヒューズ社発表の米石油掘削装置(リグ)稼働数



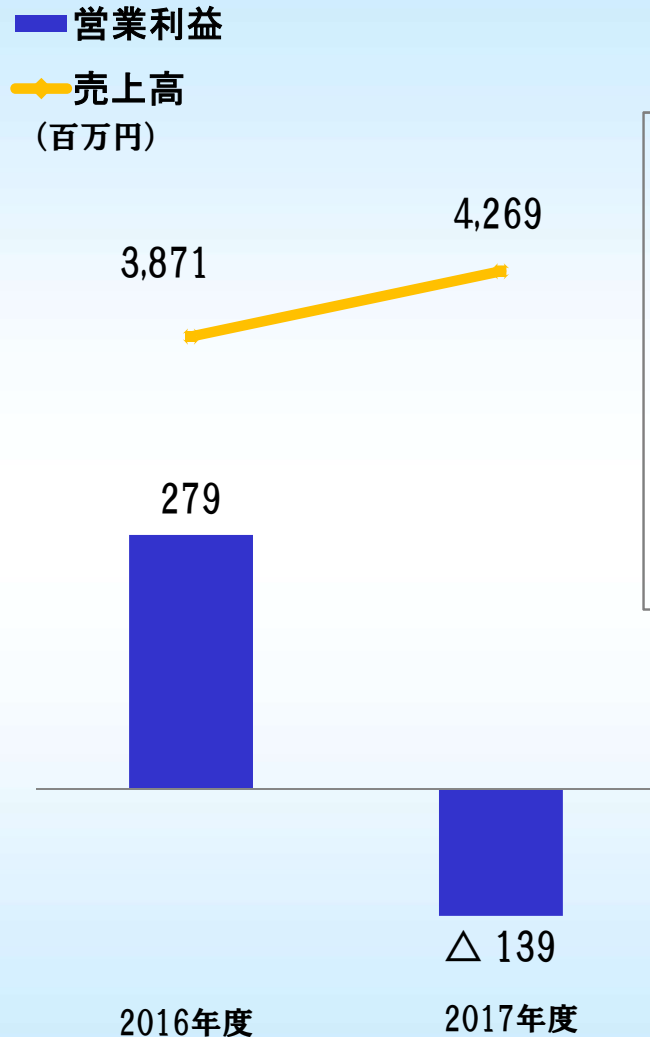
WTI原油先物 月足チャート



I. 2017年12月期決算概要

欧州事業の概況

売上高/営業利益の推移



消防用ホース堅調も、商品廃棄損及び特価販売等により業績悪化

商品廃棄損について

買収前から継続されてきた商品の品質基準を、北米事業において培った品質基準と同等のものに改善。それに伴い、従来の基準では商品として認められていたものの一部(156百万円)を2017年内に一斉廃棄した。

● 為替換算影響額

(現地通貨売上高)

34百万EUR

前年比6.5%増収

(売上高影響額)

+215百万円

(営業利益影響額)

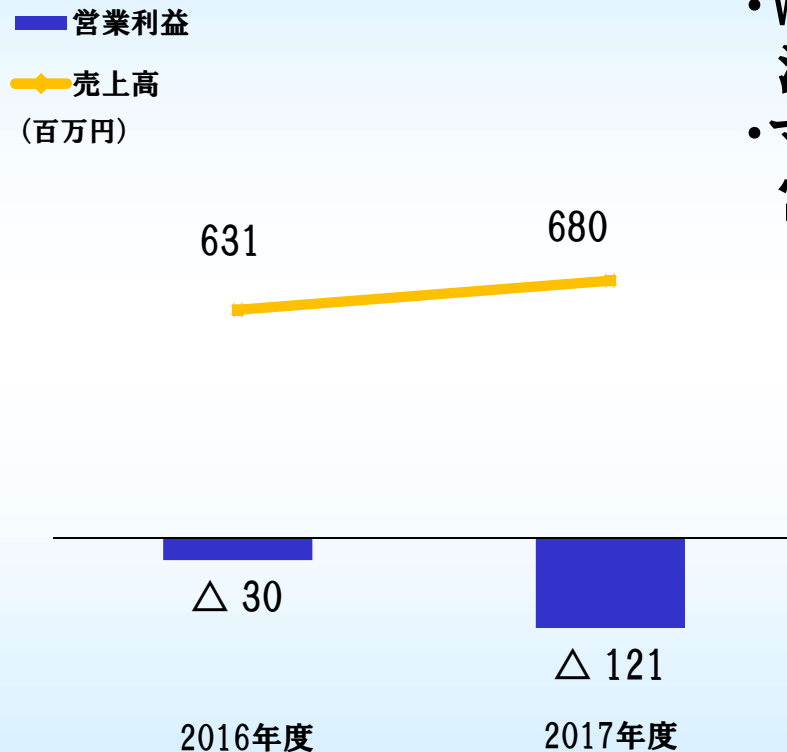
+15百万円

| 適用レート (ユーロ€) | 16/12 | 17/12 |
|-----------------|---------|---------|
| | 120.63円 | 127.22円 |

I. 2017年12月期決算概要

その他事業の概況

その他売上高/営業利益の推移



- ・「MONTURA」直営店1店舗、百貨店3店舗をオープン
- ・Web販売やSNSによる広告・宣伝活動を実施
- ・マーケティング費用が発生し営業赤字に



MONTURA TOKYO(神田小川町)



MONTURA Shop 恵比寿三越



MONTURA PLUS松坂屋豊田店

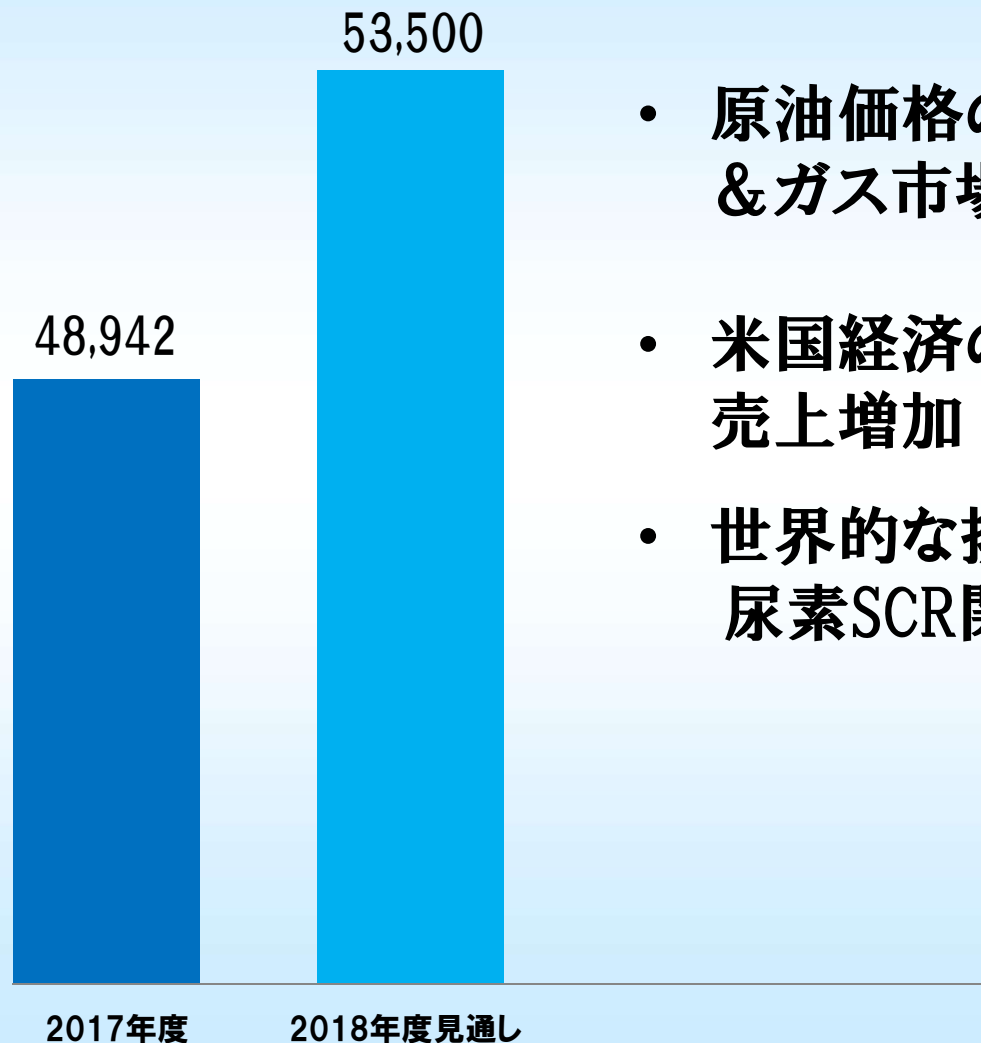


MONTURA Shop福岡三越

II. 2018年度 業績見通し

業績見通し

売上高 (百万円)

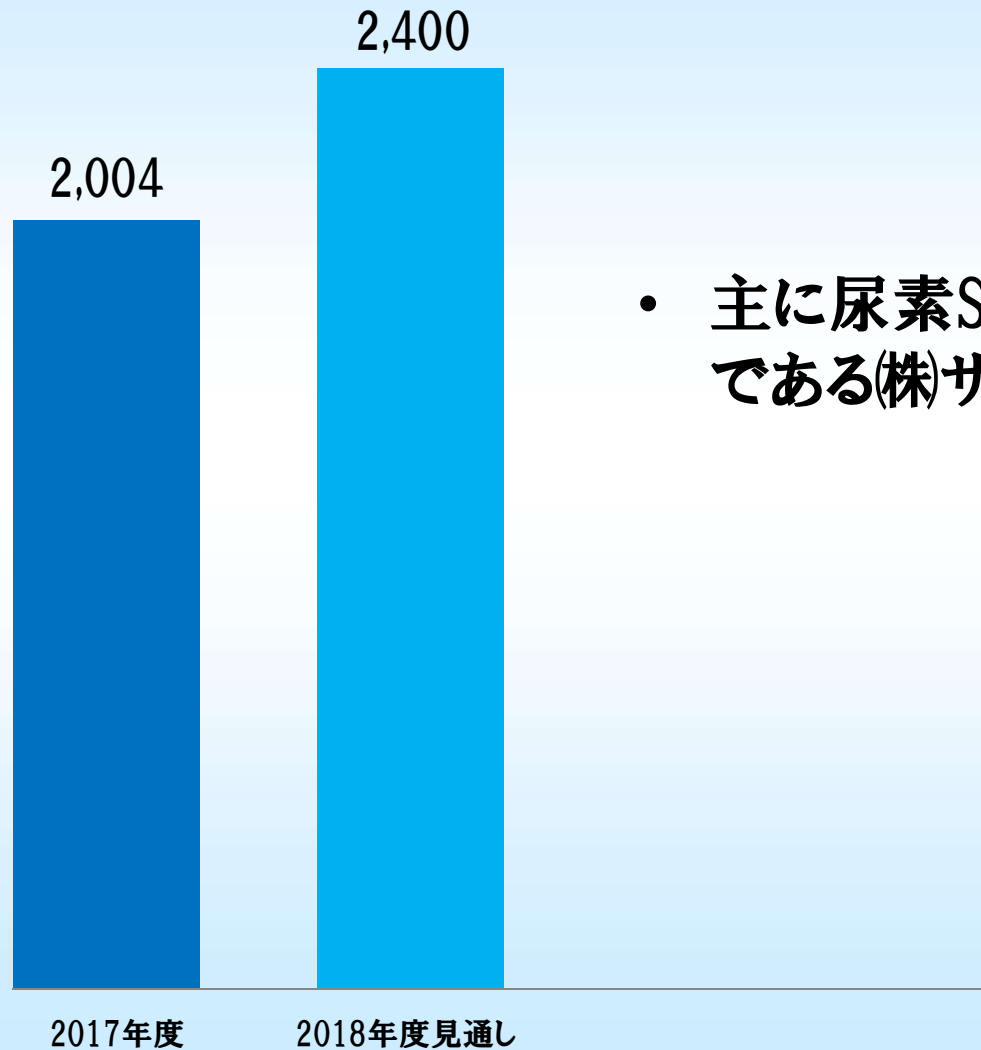


- 原油価格の上昇によるシェール・オイル & ガス市場の回復
- 米国経済の拡大による産業用ホースの売上増加
- 世界的な排ガス規制の加速により、尿素SCR関連製品の需要拡大

業績見通し

営業利益

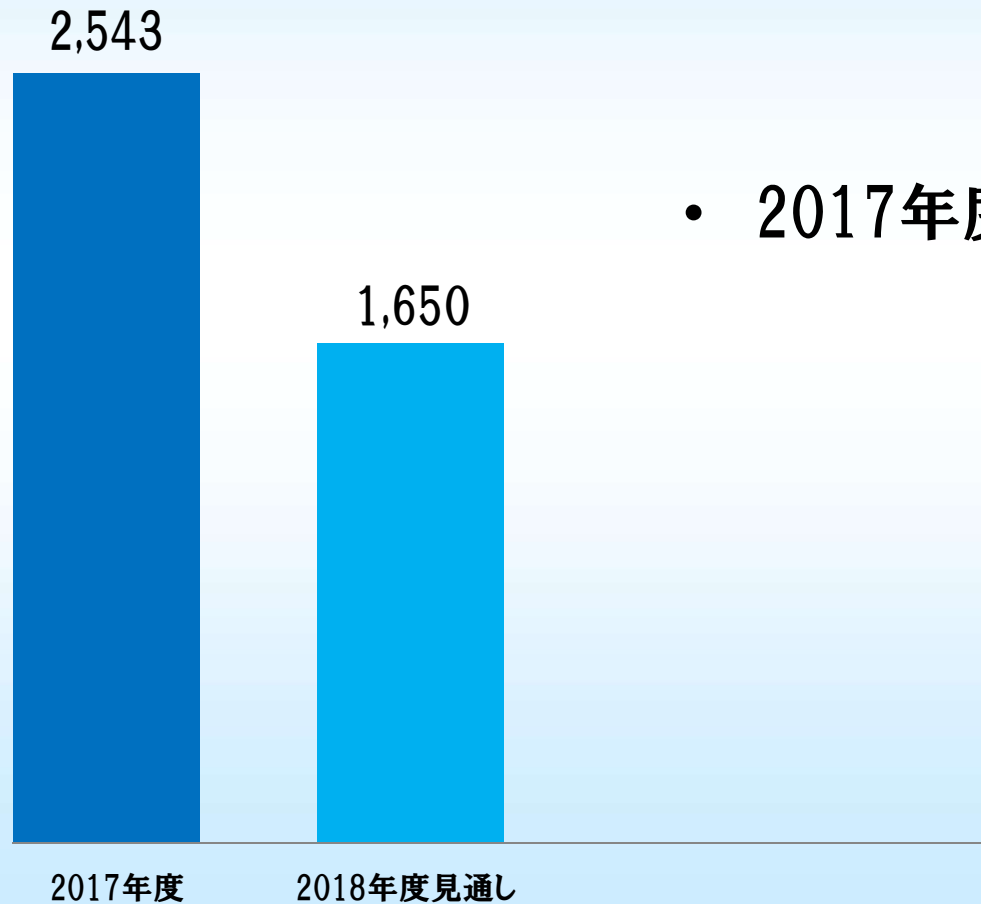
(百万円)



- 主に尿素SCRセンサーの製造メーカーである(株)サンエーの赤字幅縮小による

業績見通し

当期利益 (百万円)



- 2017年度のホテル売却益剥落

Ⅱ. 2018年12月期業績見通し

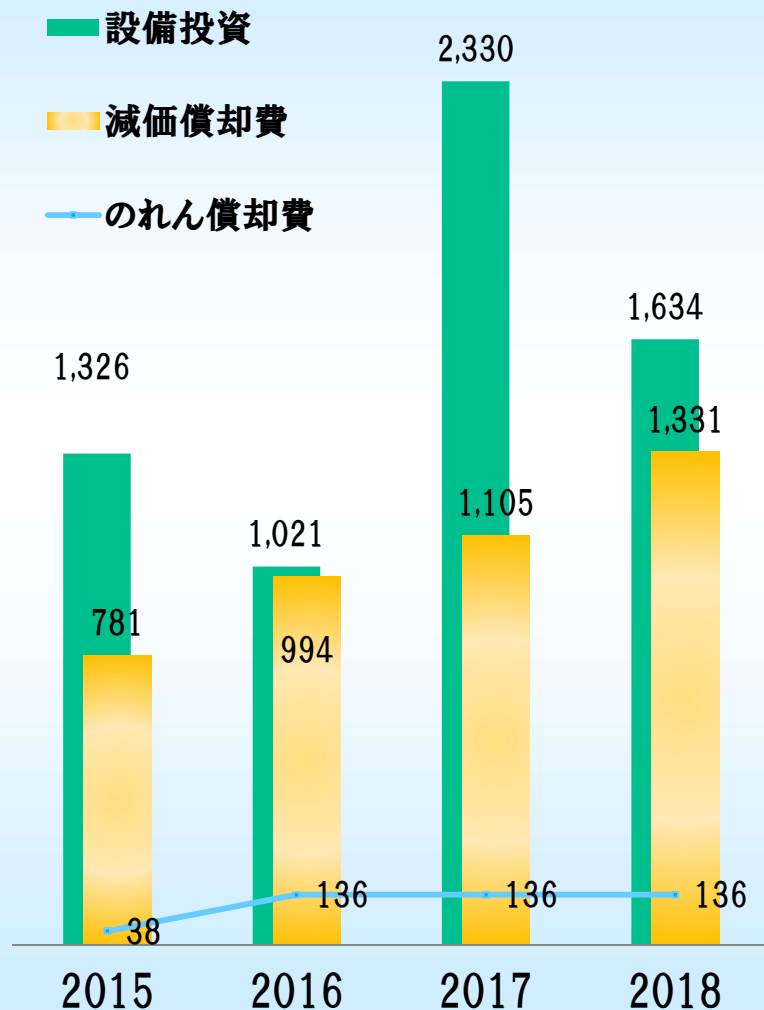
為替見通し

| USD (主なインパクト) | 2017年実績 | 2018年計画 | 為替感応度(百万円) | |
|------------------|---------|---------|------------|------|
| | | | 売上高 | 営業利益 |
| ●北米事業損益換算 | | | | |
| ●産業資材販売/調達 | 112.04 | 115.00 | 200 | 15 |
| ●建設資材調達 | | | | |
| EUR (主なインパクト) | 2017年実績 | 2018年計画 | 為替感応度(百万円) | |
| | | | 売上高 | 営業利益 |
| ●欧州事業損益換算 | | | | |
| ●産業資材販売/調達 | 127.22 | 130.00 | 40 | 0 |
| ●スポーツ施設資材調達 | | | | |

投資

設備投資及び減価償却費等の推移

(百万円)

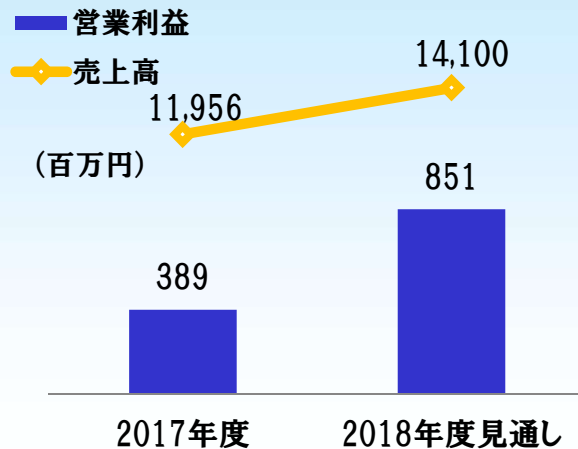


- 北米のPHP社建屋/設備増強
370百万円
- (株)サンエー設備増強
328百万円
* 2017年度実績は682百万円
- スペインのTIPSA社
設備増強 215百万円
- アルゼンチンのINQUISA社
設備増強 250百万円

II. 2018年12月期業績見通し

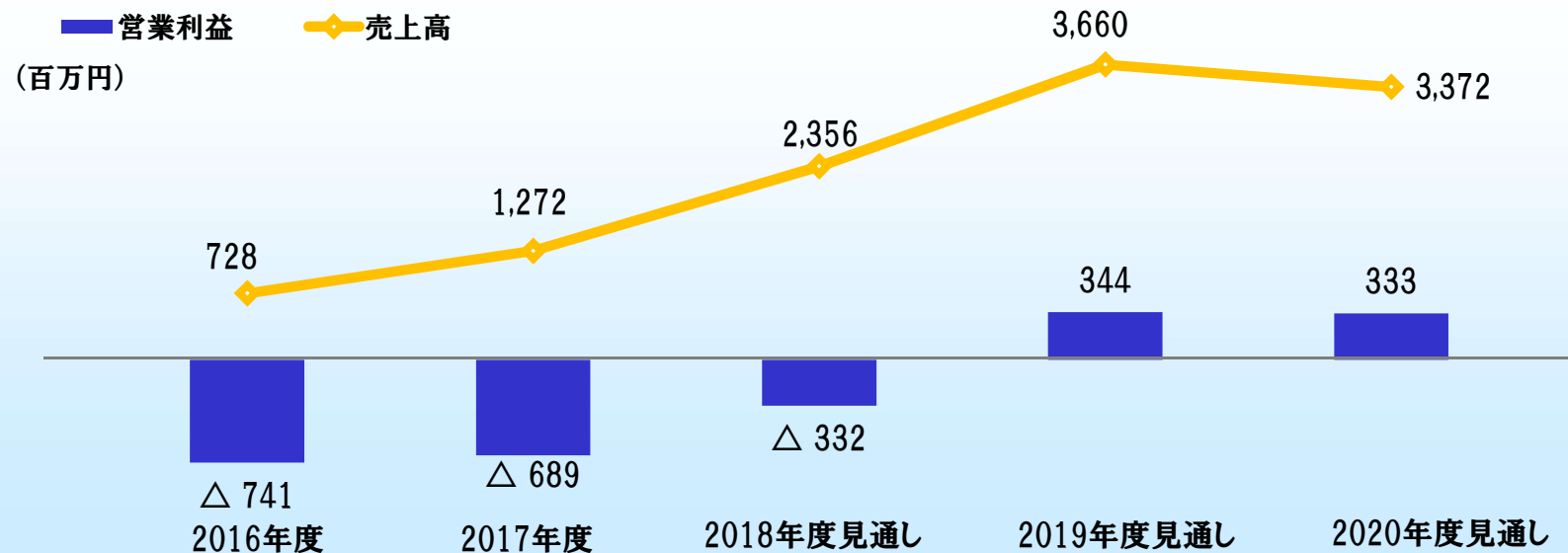
アジア事業<産業>

産業資材事業



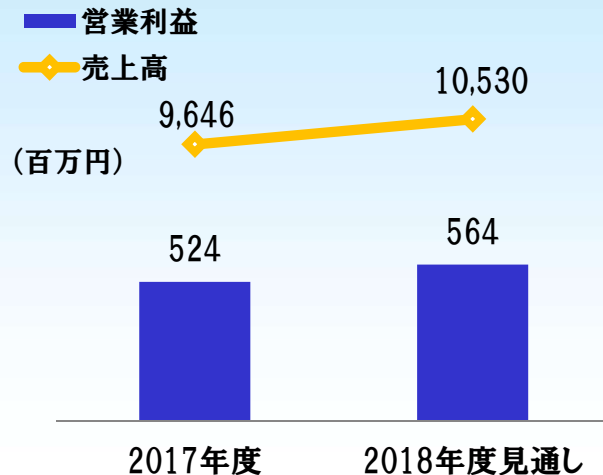
- 尿素SCRモジュール・タンク等排ガス規制関連商品の開発及び販売強化
- (株)サンエーにおける欧州乗用車向け小型化新製品の本格的量産と次世代新製品の研究・開発強化

(株)サンエー単体業績推移



アジア事業〈スポーツ・建設〉

建設・スポーツ資材事業



- 商業施設向けにオリジナルブランド商品である「スーパー・マテリアルズ」等の受注活動の強化
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に伴う建設需要やインフラ整備など建設投資の取込強化
- 下記スポーツイベントに向け、新設及び改修物件の受注強化
 - ① 平成31年ラグビーワールドカップ
 - ② 平成32年東京オリンピック、パラリンピック
 - ③ 平成33年関西ワールドマスターズゲームズ

*この時期はゴールデン・スポーツイヤーズと称されている

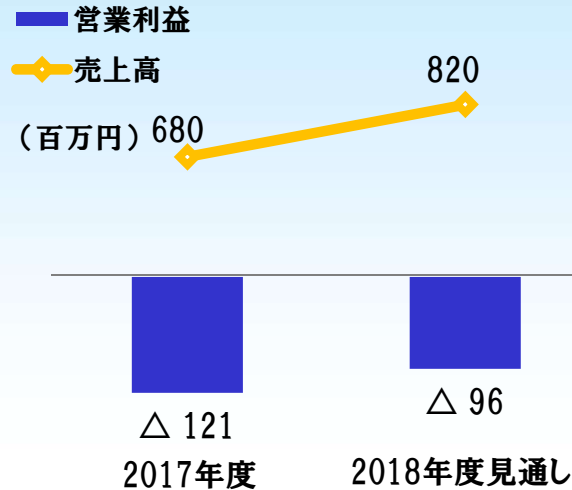
【建設・スポーツ売上高内訳】

| | 2017年度 | 2018年度見通し |
|------|--------|-----------|
| 建設 | 7,526 | 8,100 |
| スポーツ | 2,120 | 2,430 |
| 合計 | 9,646 | 10,530 |

II. 2018年12月期業績見通し

アジア事業 〈その他〉

その他事業



- ・ イタリアのスポーツアパレルブランド「MONTURA」の国内認知度向上と販売強化
- ・ 「MONTURA」ブランドのゴルフウェアへの展開 (2018年度より、秋冬モデルの販売開始)
- ・ 「MONTURA」ブランドの日本規格商品の販売開始



- ・ 仙台市、宇都宮市に新店舗オープン
直営店2店舗、百貨店5店舗の計7店舗に

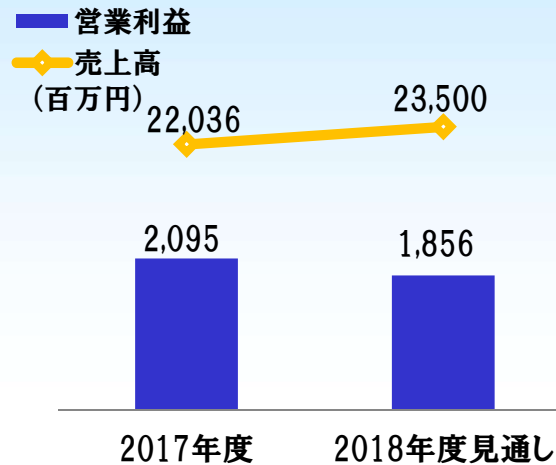
3/7(水) 仙台三越本館4F
MONTURA Shop 仙台オープン

II. 2018年12月期業績見通し

北米・欧州事業

－北米・欧州とのシナジー効果の拡大によりグローバル事業展開を推進－

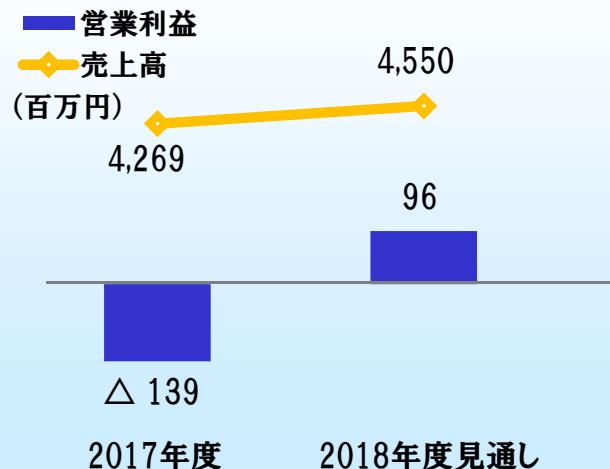
北米事業



- 北米経済の好調の機を捉え、ホース市場での更なるシェア拡大
- 買収した欧州グループと更なる連携強化を図ることにより、製販一体によるグループネットワークと豊富なホース製品群を生かし、グローバル展開を加速させる

| 期中平均 | 17/12 | 18/12 |
|-----------|---------|---------|
| レート(1USD) | 112.04円 | 115.00円 |

欧州事業



- 生産効率の更なる向上による収益力の強化
- 製造技術面における北米グループとのシナジー効果の最大化

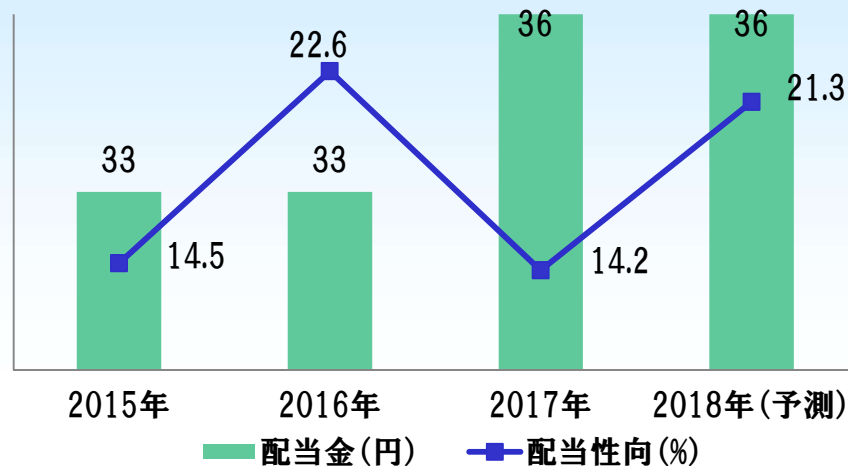
| 期中平均 | 17/12 | 18/12 |
|-----------|---------|---------|
| レート(1USD) | 127.22円 | 130.00円 |

株主還元の概況

配当金

基本方針：継続的・安定的配当を基本とし、配当性向及び内部留保を総合的に勘案

上場来(2004～2017)減配なし



●配当金

2017年度は前期に比べ1株につき3円増配の**36円**

●配当性向

配当性向**30%**を目標

その他

【自己株式取得】

以下の通り、2017年度は2度の自己株式取得を実行

- ・ 2017年2月13日 普通株式792,300株×@1,765=1,398百万円
- ・ 2017年11月13日 普通株式200,000株×@1,950= 390百万円

【株主優待制度】

2017年度に株主優待制度として、その他事業として取扱うスポーツアパレルブランド「MONTURA」オリジナルクオカードの贈呈を決定

Ⅲ. 経営戦略

基本戦略

1 2017年度の進捗度合い

グ
ロ
ー
バ
ル
事
業
展
開

- ◆グローバルなホースカンパニーを目指し、製販一体型のビジネスモデルの一層の強化
- ◆品質管理のさらなる強化
- ◆グローバル体制深化の中での拠点の拡大

基本戦略

1 2017年度の進捗度合い

グローバルなホースカンパニーを目指し、製販一体型のビジネスモデルの一層の強化

北米 & 欧州

- ◆PHP社屋ライン増設…新製品の開発及び生産の拡大余地の改善
- ◆カナダのAIH設備増強…飲料用ホースなど生産能力約30%増強を見込む
- ◆欧州グループ内において生産効率改善を図る
- ◆スペイン事業会社3社 (TIPSA、TUBOS、BULMA) を統合し、企業構造のスリム化を実現



基本戦略

1 2017年度の進捗度合い

グローバルなホースカンパニーを目指し、製販一体型のビジネスモデルの一層の強化

国内

◆OEMテクニカルセンターを製造拠点として機能させ、生産効率向上を図るため、ホースやクランプ、SCRなどを自動でアッセンブリするロボットや装置を導入



◆(株)サンエーの量産体制に向けた生産効率向上のための設備強化

◆品質管理のさらなる強化

欧州

◆内部統制強化及び品質基準改定による陳腐在庫一括処分

基本戦略

1 2017年度の進捗度合い

◆グローバル体制深化の中での拠点の拡大

北米 & 欧州

◆南米・ロシア・アフリカ・中東・アジア・豪州への展開

- ・北米ホースを欧州グループであるスペインやアルゼンチンで販売。
アルゼンチン製のホースを北米で販売
- ・米国開催の展示会において北米・欧州事業製品
や尿素水識別センサーを同時に展示
- ・中国(北京)で開催された国際消防設備技術交流
展示会に欧州グループ取扱い消防用ホースや
ノズル等を展示
- ・M&Aの予定はないが、各地域の市場を調査



基本戦略

2 2018年度の基本戦略

- ◆ホース事業でグローバルトップステータスを目指す
- ◆アジア地域で全事業分野のプレゼンスを一層高める
- ◆品質を高め、技術力を強化し、リスク管理を徹底

ご清聴誠にありがとうございました。



※2018年1月5日に本社を移転いたしました

＜お問い合わせ先＞

クリヤマホールディングス株式会社 経営企画部

〒540-6325 大阪府中央区城見1丁目3番7号

松下IMPビル25階

E-Mail : IR@kuriyama.co.jp

TEL 06-6910-7023 FAX 06-6910-7035

<http://www.kuriyama-holdings.com/>

補足資料

補足資料

要約損益計算書

(単位:百万円、%)

| | 2016/12 | | 2017/12 | | | |
|-----------|---------|---------|---------|-------|-------|------|
| | 金額 | 百分比 | 金額 | 百分比 | 増減額 | 増減率 |
| 売上高 | 44,829 | 100.0 | 48,942 | 100.0 | 4,113 | 9.2 |
| 売上総利益 | 12,079 | 26.9 | 12,965 | 26.5 | 885 | 7.3 |
| 営業利益 | 1,988 | 4.4 | 2,004 | 4.1 | 15 | 0.8 |
| 経常利益 | 2,286 | 5.1 | 2,354 | 4.8 | 68 | 3.0 |
| 当期利益 | 1,566 | 3.5 | 2,543 | 5.2 | 976 | 62.3 |
| 為替 レート | 米国 \$ | 109.44円 | 112.04円 | | 2.60円 | |
| | カナダ \$ | 82.63円 | 86.53円 | | 3.90円 | |
| | ユーロ € | 120.63円 | 127.22円 | | 6.59円 | |
| | 中国元 | 16.42円 | 16.63円 | | 0.21円 | |

販売費・営業外損益等の概況

(単位:百万円)

| ※主要科目を記載 | 2016/12 | 2017/12 | 増減額 |
|---------------------|---------------|---------------|--------------|
| 1. 販管費 | 10,090 | 10,960 | 870 |
| ①人件費 | 4,118 | 4,404 | 286 |
| ②運賃荷造費 | 1,333 | 1,547 | 214 |
| ③賃借料 | 415 | 505 | 89 |
| 2. 営業外損益 | 297 | 349 | 52 |
| ④為替差損益(差損△) | △21 | △221 | △199 |
| ⑤持分法投資利益 | 322 | 286 | △35 |
| ⑥受取技術料 | 0 | 304 | 304 |
| 3. 特別損益(△損失) | △1 | 1,653 | 1,655 |
| ⑦関係会社株式売却益 | 0 | 1,797 | 1,797 |
| ⑧出資金評価損 | 0 | △117 | △117 |
| 4. 法人税等 | 712 | 1,461 | 748 |
| ⑨法人税、住民税及び事業税 | 752 | 1,673 | 920 |
| ⑩法人税等調整額 | △39 | △211 | △251 |

要約貸借対照表

〔資産の部〕

(単位:百万円)

| | 2016/12 | 2017/12 | 増減額 |
|------------------------|---------|---------|--------|
| 現金及び預金 | 6,401 | 6,131 | △270 |
| 受取手形・売掛金 (電子記録債権含む) | 7,266 | 8,954 | +1,688 |
| たな卸資産 | 9,864 | 11,144 | +1,280 |
| その他 | 989 | 1,008 | +19 |
| 流動資産合計 | 24,521 | 27,238 | +2,717 |
| 有形固定資産 | 8,440 | 8,963 | +523 |
| 無形固定資産 | 2,508 | 2,240 | △268 |
| 投資その他の資産 | 6,001 | 6,288 | +287 |
| 固定資産合計 | 16,951 | 17,493 | +542 |
| 資産合計 | 41,472 | 44,731 | +3,259 |

北米 2億50百万円増
アジア 12億45百万円増
欧州 1億93百万円増

北米 11億9百万円増
アジア 4億24百万円増
欧州 2億54百万円減

アジア
のれん1億31百万円減

欧州
顧客関係資産52百万円減

関係会社株式及び出資金
2億41百万円増
出資金評価損
1億17百万円
(10.94%出資している中国のタ
イル製造会社)

| | 16/12 | 17/12 |
|-------------|---------|---------|
| 期末レート(US\$) | 116.49円 | 113.00円 |
| 期末レート(EUR) | 122.70円 | 134.94円 |

補足資料

要約貸借対照表

〔負債・純資産の部〕

(単位:百万円)

| | 2016/12 | 2017/12 | 増減額 |
|------------------------|---------|---------|--------|
| 支払手形・買掛金 (電子記録債務含む) | 6,185 | 7,661 | +1,476 |
| 借入金(1年内長借含) | 4,848 | 5,926 | +1,078 |
| その他 | 1,960 | 3,282 | +1,322 |
| 流動負債合計 | 12,995 | 16,870 | +3,875 |
| 借入金 | 5,341 | 4,923 | △418 |
| その他 | 3,041 | 2,263 | △778 |
| 固定負債合計 | 8,382 | 7,186 | △1,196 |
| 負債合計 | 21,377 | 24,057 | +2,680 |
| 株主資本合計 | 18,873 | 19,273 | +400 |
| その他包括利益合計 | 1,176 | 1,370 | +194 |
| 非支配株主持分 | 45 | 30 | △15 |
| 純資産合計 | 20,095 | 20,674 | +579 |
| 負債、純資産合計 | 41,472 | 44,731 | +3,259 |

有利子負債純増額
1億88百万円増加
(借入金純増減額
6億60百万円増加)

純利益25億43百万円
配当 3億54百万円
自己株式取得
17億88百万円

自己資本比率 2.2%減少
2016年度末 48.3%→
2017年度末 46.1%

補足資料

キャッシュフロー、設備投資等

(単位:百万円)

| | 2016/12 | 2017/12 | 増減額 |
|---------------|---------|---------|--------|
| 営業CF | 2,640 | 1,751 | △889 |
| 投資CF | △1,719 | △52 | △1,667 |
| FCF | 921 | 1,698 | +777 |
| 財務CF | △297 | △2,070 | △1,773 |
| 現金及び 現金同等物 | 5,871 | 5,601 | △269 |

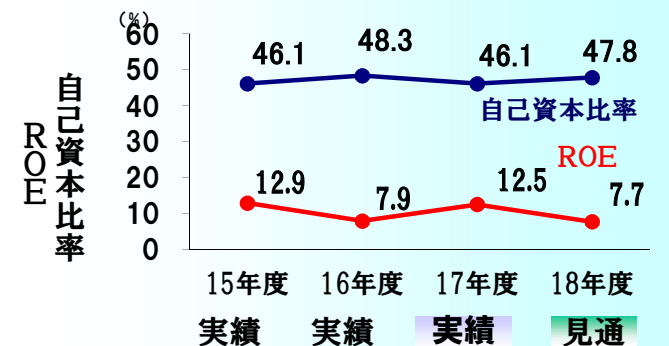
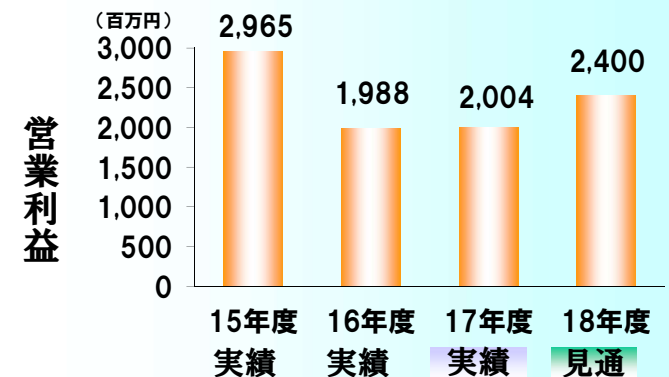
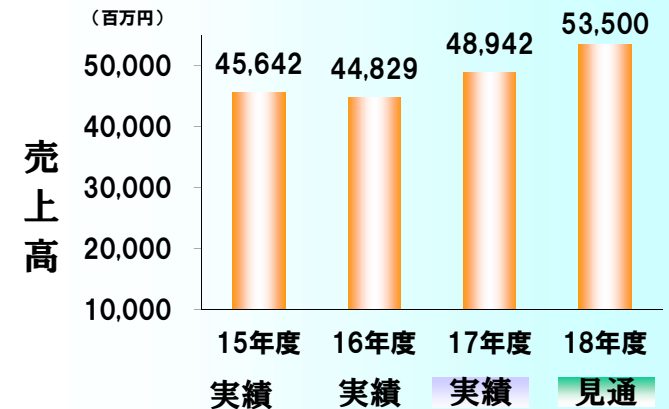
(単位:百万円)

| | | | |
|--------|-------|-------|--------|
| 設備投資額 | 1,021 | 2,330 | +1,309 |
| 減価償却費 | 994 | 1,105 | +110 |
| のれん償却費 | 136 | 136 | +0 |
| 研究開発費 | 394 | 450 | +56 |

補足資料

クリヤマグループ業績見通し

| | 2015年 実績 | 2016年 実績 | 2017年 実績 | 2018年 見通 | |
|---------------------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------|
| 売上高 (百万円) | 45,642 | 44,829 | 48,942 | 53,500 | |
| 営業利益 (百万円) | 2,965 | 1,988 | 2,004 | 2,400 | |
| 経常利益 (百万円) | 3,443 | 2,286 | 2,354 | 2,800 | |
| 当期利益 (百万円) | 2,449 | 1,566 | 2,543 | 1,650 | |
| ROE (%) | 12.9 | 7.9 | 12.5 | 7.7 | |
| 自己資本比率 (%) | 46.1 | 48.3 | 46.1 | 47.8 | |
| 有利子負債増減額 CFベース(百万円) (減少△) | 3,159 | 95 | 115 | 979 | |
| 設備投資額 (百万円) | 1,326 | 1,021 | 2,330 | 1,634 | |
| 為替 レート | 米国 \$ | 121.03円 | 109.44円 | 112.04円 | 115円 |
| | カナダ \$ | 94.04円 | 82.63円 | 86.53円 | 90円 |
| | ユーロ € | 133.55円 | 120.63円 | 127.22円 | 130円 |
| | 中国元 | 19.17円 | 16.42円 | 16.63円 | 16円 |

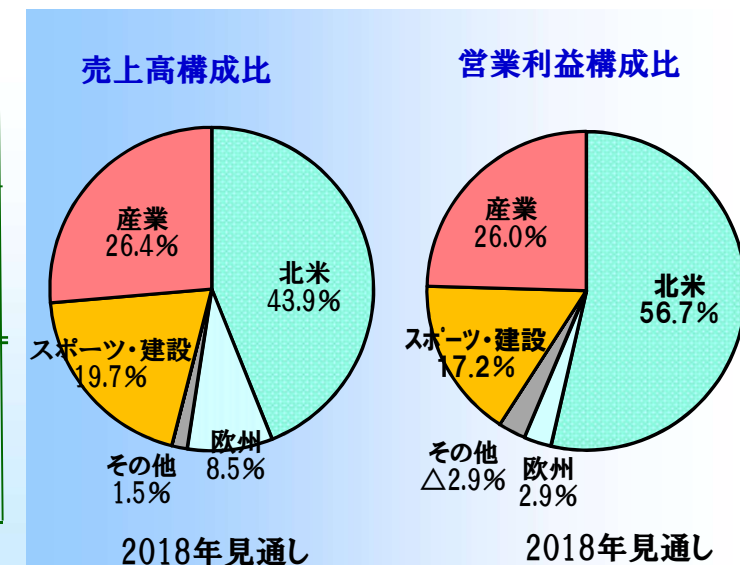
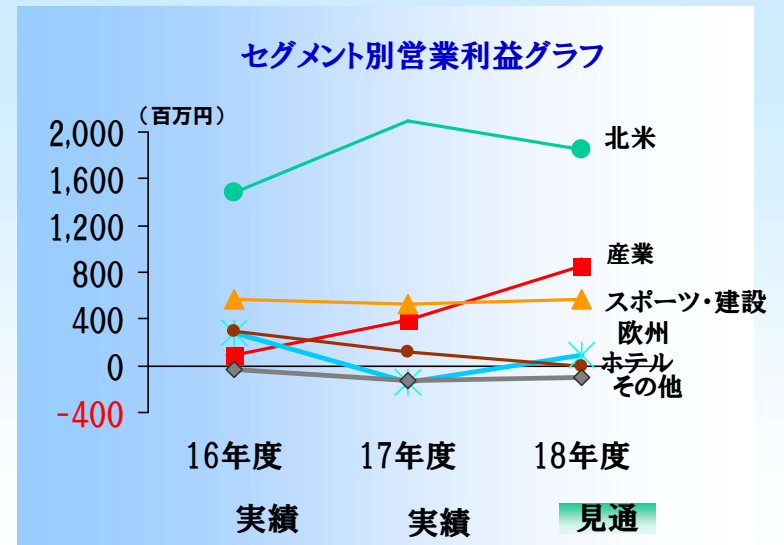


補足資料

事業セグメント別業績見通し

(単位:百万円)

| | | 2016年 実績 | 2017年 実績 | 2018年 見通 |
|-------|-------------|----------|----------|----------|
| アジア事業 | 産業資材事業 | 10,596 | 11,956 | 14,100 |
| | | 86 | 389 | 851 |
| | スポーツ・建設資材事業 | 9,428 | 9,646 | 10,530 |
| | | 570 | 524 | 564 |
| | ホテル事業 | 783 | 354 | 0 |
| | 291 | 120 | 0 | |
| | 631 | 680 | 820 | |
| | △30 | △121 | △96 | |
| 北米事業 | | 19,518 | 22,036 | 23,500 |
| | | 1,484 | 2,095 | 1,856 |
| 欧州事業 | | 3,871 | 4,269 | 4,550 |
| | | 279 | △139 | 96 |
| 連結 | | 44,829 | 48,942 | 53,500 |
| | | 1,988 | 2,004 | 2,400 |



(注) 1. 上段は外部売上高、下段は営業利益 2. 全社費用は上記に表示していません。